

◇沼津市自転車ネットワーク計画更新（案）について【概要版】

1. 計画更新の目的

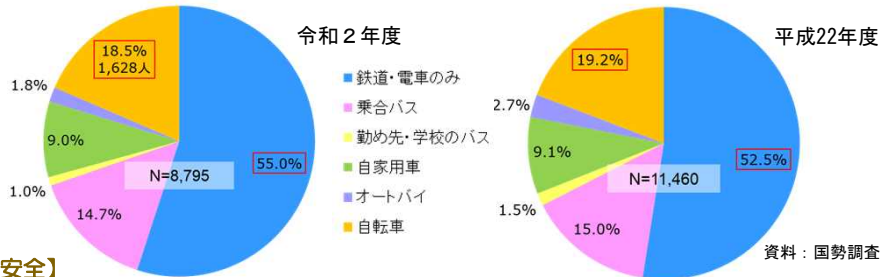
本市では、市街地を中心に自転車を当事者とした交通事故が多く発生し、郊外では、伊豆市でのオリンピック自転車競技の開催決定を契機に、海岸線の道路を利用するサイクリストも増えてきたことから、自転車利用環境の安全性の向上を図るため「沼津市自転車ネットワーク計画」を平成29年度に策定し、安全で快適な自転車利用環境の整備を進めております。

平成30年度の整備着手から5年が経過したことから、これまでの整備状況を踏まえた計画の評価を行い、安全・安心に自転車を利用できるような路線及び整備形態について、自転車の利用状況、道路整備状況や交通状況に応じた見直し及び新たなエリアの路線や他市町との連携路線の追加を検討し、自転車通行空間のさらなる整備を効率的、効果的に推進していただけるよう「現計画」の更新を行います。

2. 自転車通行空間整備後の自転車利用環境

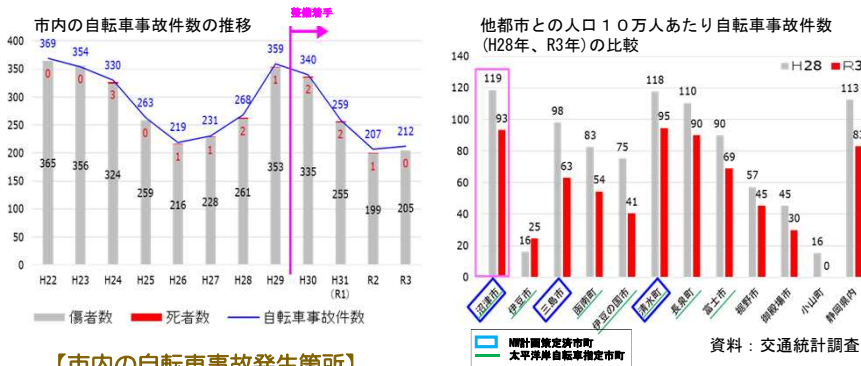
【人の動き】

○他市町から沼津市内に通勤・通学する鉄道利用者の末端交通手段の内、自転車を交通手段とする分担率を計画策定前後で比較すると、いずれも鉄道・電車のみ（徒歩）に次いで2割を占めています。



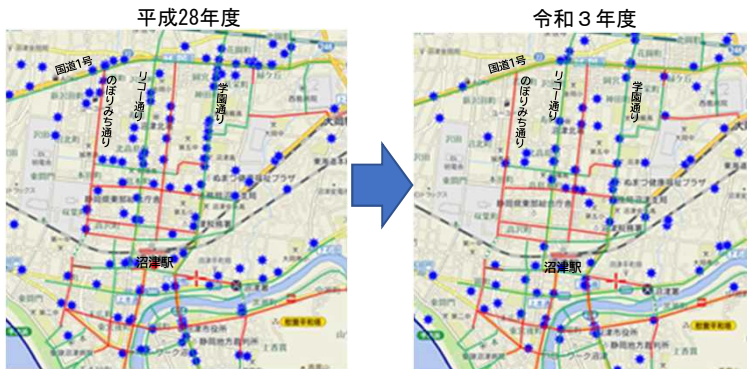
【交通安全】

○市内の自転車分担率が高く、通勤・通学者の自転車利用が多いことから、人口10万人当たりの事故発生件数は、周辺自治体や静岡県平均と比べると自転車通行空間の整備着手後も高い傾向にありますが、事故件数は減少傾向に向かっています。



【市内の自転車事故発生箇所】

○市内で発生している自転車事故は、整備着手後においても沼津駅周辺の市街地に集中している傾向にありますが、整備済み箇所において自転車事故の件数が減少傾向にあります。



3. 自転車通行環境整備状況

評価指標	目標値			使用データ	実績値 R4時点
	現況(H28)	5年後(R4)	20年後(R19)		
自転車通行環境整備率 ^{※1} ・自転車ネットワーク計画延長あたり整備率	1%	50%	80%	整備延長集計	58.9%

○令和4年度末の目標値50%に対し、実績値は58.9%と進捗し、整備は計画以上に進められています。

4. 自転車ネットワーク計画更新の考え方

【基本方針】（路線選定基準）

- 基本方針1:だれもが安全・安心、快適に自転車を利用できる環境の創出
 - ①自転車事故危険箇所（県警データ）
 - ②高校から指摘があった危険箇所
 - ③高校へアクセスする路線
- 基本方針2:日常生活における自転車の利用促進
 - ①日常主要施設（行政施設・商業施設、病院）へのアクセス路線
 - ②沼津駅から3km圏内の駅へのアクセス路線
 - ③片浜駅・原駅からそれぞれ1km圏内の駅へのアクセス路線
- 基本方針3:観光・地域資源を活用した自転車の利用促進
 - ①観光施設へアクセスする路線
 - ②サイクリングマップの路線（港周辺、狩野川、ぐるっと”ぬまいち”KANOGAWAサイクリングMAP）
 - ③太平洋岸自転車道、富士山1周ルート（ふじいち）に位置付けられた路線

【路線選定（案）】

